高温・低温等の環境条件に左右されないため、
受粉が安定しない時でもしっかり着果。
さらに果実肥大を促進し、実りをサポートします。

【トマトトーンの特長】

- **着果・果実肥大・熟期**が促進され、収穫量アップに貢献。
- **高温・低温・長雨・日照不足**等の環境下でも着果が安定。
- **パキッと割れて使いやすい**、固めのアンプルを採用。

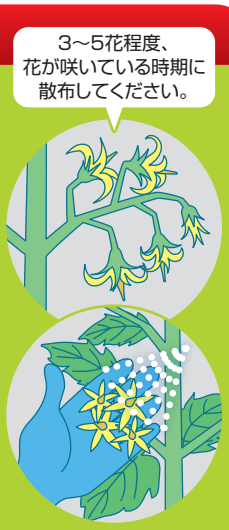
植物成長調整剤

# 日産トマトトーン®

農林水産省登録　第11762号
成　　分：4-CPA……0.15%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
容　　量：20mℓ、50mℓ

**着果・果実肥大・熟期が促進!**　**高温・低温・長雨・日照不足でも着果!**　**パキッと割れて使いやすい!**

## 「トマト」での上手な使い方




- 1花房あたり、4果程度が適切な量とされています。3から5花程度、花が咲いた時期に処理してください。
- 同じ花房に対して2度かけしないでください。奇形果発生の原因になることがあります。
- 散布量は、花からしたたり落ちない程度でも十分な効果を発揮します。過剰な散布に注意してください。
- 葉に薬剤がかかると、縮葉等の薬害が生じる場合があります。なるべく花房以外にかからないように、手で花を持つなどして散布しましょう。
- 高温時の処理は好ましくありません。処理当日に乾燥させる必要もあるため、午前中の処理をお勧めします。
- 気温が35℃を超えると、トマト花粉の稔性が下がります。特に施設内では、適切な温度管理をお願いします。

## 「ミニトマト」での上手な使い方

- 1花につき1回処理できますが、1花房あたりでも3回程度までがよいでしょう。同じ花に複数回処理すると奇形果発生の原因となることがあります。
- 散布量は、花からしたたり落ちない程度でも十分な効果を発揮します。過剰な散布に注意してください。
- 葉に薬剤がかかると、縮葉等の薬害が生じる場合があります。なるべく花房以外にかからないように、手で花を持つなどして散布しましょう。
- 高温時の処理は好ましくありません。処理当日に乾燥させる必要もあるため、午前中の処理をお勧めします。
- 気温が35℃を超えると、トマト花粉の稔性が下がります。特に施設内では、適切な温度管理をお願いします。

## ■適用内容と使用方法

| 作物名 | 使用目的 | 希釈倍数 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | 4-CPAを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| トマト | 着果促進<br>果実の肥大促進<br>熟期の促進 | 低温時（20℃以下）50倍 | 開花前3日～開花後3日位<br>（1花房で3～5花位開花した時期） | 1花房につき1回 | 散布 | 1花房につき1回 |
| | | 高温時（20℃以上）100倍 | | | | |
| ミニトマト | | 低温時（20℃以下）50倍 | 開花前3日～開花後3日位 | 1花につき1回 | | 1花につき1回 |
| | | 高温時（20℃以上）100倍 | | | | |
| なす | | 50倍 | 開花当日 | 1花房につき1回 | | 1花房につき1回 |
| メロン | 着果促進 | 3～5倍 | 開花前日～翌日 | 花こう部に1回 | 塗布 | 1花につき1回 |
| | | 25～100倍 | | 花に1回 | 散布 | |
| しろうり<br>ズッキーニ | | 50倍 | 開花当日 | | | |

## ■使用上の注意事項

- 必ず適用表に記載の希釈倍数に従って水に溶かして使用してください。同じ花房(花)に重複散布したり、所定濃度以上の濃い液の散布は薬害を生ずるおそれがあるのでさけてください。
- 頂芽や幼葉にかかると、その部分が萎縮したようになるので、なるべく花房(花)にのみかかるように噴霧してください。
- メロンの花に噴霧をおこなう場合、子房だけに噴霧する時は、使用時期にかかわらず人工授粉を併用してください。また、低温時（20℃以下）には希釈倍数を低くし、高濃度で使用してください。
- ズッキーニに使用する場合、生育初期の雄花が少ない時期は結実が不安定であり、十分な効果が期待できないので使用しないでください。
- 使い残りの希釈液は4週間程度迄の保存はできるが、なるべく早く使用してください。
- 効果の有無は、散布後2～3日すると果梗が太くなり幼果のつやが増し、非常に発育が早くなるのでわかります。
- 使用に際しては、本剤は植物ホルモン剤であるので、使用時期、使用量、使用方法など誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物以外の作物に薬剤がかからないように注意してください。
- 他の農薬との混用は行わないでください。
- 本剤散布に使用する容器、噴霧器等の用具は使用の前後に良く水洗してください。
- アンプルの首部分を割る時は薬剤が眼などに入らないよう眼や体から離して取り扱ってください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農薬用マスクなどを着用してください。作業後は洗眼・うがいをしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年8月末現在の登録内容に基づいています。

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目５番１号
ホームページ https://www.nissan-agro.net/
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00～17:30土日祝日除く)